

日本循環器連合各位

令和 8 年 7 月 30 日

3 学会合同策定「大動脈弁狭窄症（AS）のスクリーニングおよび診断に関する
ラウンドテーブル報告書（Key Insights Report）」について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、日本における大動脈弁狭窄症（AS）のスクリーニングおよび診断に関するラウンドテーブル報告書（Key Insights Report）が公開されましたので、ご案内申し上げます。本報告書は、American College of Cardiology（ACC）、日本循環器学会（JCS）および日本心臓病学会（JCC）の3学会が共同で開催した多職種フォーカスグループ（ラウンドテーブル）（2026年3月8日・東京開催）における議論を取りまとめたものです。

当日は、心血管領域の専門家が一堂に会し、日本における大動脈弁狭窄症（AS）のスクリーニング、診断および患者紹介に関する現状の課題や改善の方向性について活発な議論が行われました。本報告書では、その議論を通じて得られた知見や提言を取りまとめており、英語版・日本語版の両方を公開しております。

◆報告書（英語版）：<https://hubs.li/Q04q366Y0>
Key Takeaways（英語版）：https://hubs.li/Q04qzBM_0

◆報告書（日本語版）：<https://hubs.li/Q04q352j0>
Key Takeaways（日本語版）：<https://hubs.li/Q04qBMsW0>

本フォーカスグループでは、日本全国における AS 診療の質向上を目的として、AS スクリーニングの現状と課題、診断から専門医療機関への紹介に至るベストプラクティス、医療従事者が直面する課題、ならびにベストプラクティスの普及に必要な方策について議論が行われました。

本報告書には、AS の早期発見・早期診断を推進し、適切な時期に治療へつなげることで、日本における患者さんの予後改善を目指すための提言が取りまとめられています。

ぜひご一読いただき、今後の診療・教育・啓発活動にお役立ていただければ幸いです。あわせて、英語版・日本語版それぞれの「Key Takeaways（主なポイント）」もご覧ください。

また、貴会会員の皆様にもご共有いただけますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人日本循環器学会
代表理事 小林 欣夫
渉外委員会（国際）委員長 尾野 亘

一般社団法人日本心臓病学会
代表理事 土肥 薫
国際交流委員会 委員長 阿古 潤哉